

チョコレートの製造・販売を通じて
障害者の自立支援を目指す福祉事業所
「シヨコラボ」(横浜市都筑区茅ヶ崎
中央)のメンバーとチョコレート作り

を楽しむ特別授業が5日、横浜英和小
学校(同市南区蒔田町)で開かれた。
6年生約60人が参加し、卒業前の思い
出をつくった。(米本 良子)

卒業前思い出にチョコ

都筑で 児童ら 障害者から指導受け

シヨコラボは2012年11月にオープン。障害者の就労支援に取り組む一般社団法人AOH(伊藤紀幸会長)が運営し、知的障害や精神障害を持つ10〜50代の19人がチョコレート製造を担っている。本格的な味わいで、オンラインのほか一部百貨店でも販売されるなど人気を呼んでいる。特別授業は、シヨコラボを支援している横浜元町ライオンスクラブの紹介で初めて実現した。

シヨコラボは2012年11月にオープン。障害者の就労支援に取り組む一般社団法人AOH(伊藤紀幸会長)が運営し、知的障害や精神障害を持つ10〜50代の19人がチョコレート製造を担っている。本格的な味わいで、オンラインのほか一部百貨店でも販売されるなど人気を呼んでいる。特別授業は、シヨコラボを支援している横浜元町ライオンスクラブの紹介で初めて実現した。

児童らはシヨコラボのメンバー4人から指導を受けながら、ハート形チョコレートと、マシュマロにチョコをかけた菓子を作った。

丁寧に作業することを教わり、家で作るより上手にできた」と満足そう。伊藤会長は「障害者が指導役になる貴重な機会だった。メンバーにとっても自信につながるだろう」と喜んでいた。

児童らはシヨコラボのメンバー4人から指導を受けながら、ハート形チョコレートと、マシュマロにチョコをかけた菓子を作った。

参加した女子児童(12)は「シヨコラボのお姉さんたちから



シヨコラボのメンバー(左から4人目)にチョコ作りを教わる6年生の児童ら
—横浜市南区の横浜英和小学校